

製品名: XPA (リン酸化 Ser196) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06115**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	XPA
別名	DNA repair protein complementing XP-A cells (Xeroderma pigmentosum group A-complementing protein)
遺伝子 ID	7507.0
SwissProt ID	P23025
免疫原	ヒト XPA 由来の合成ペプチド (リン酸化 Ser196)

背景

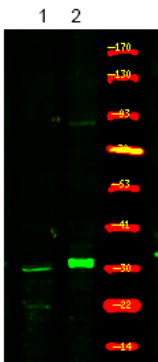
疾患: XPA の欠陥は、色素性乾皮症相補群 A (XP-A) [MIM:278700]の原因であり、色素性乾皮症 1 型 (XP1) としても知られてい

ます。XP-Aは、太陽光に対する過敏症、日光曝露部位の癌発生率の高さ、そして場合によっては神経学的異常を特徴とする、まれなヒト常染色体劣性疾患です。A群の患者は、最も重篤な皮膚症状と進行性神経疾患を示します。機能: DNA除去修復に関与しています。光産物とその領域の転写状態に応じて、様々な親和性で損傷部位に結合し、修復を開始します。UV誘導性CHK1リン酸化、およびUV照射後のDNA損傷部位であるシクロブタンピリミジン二量体(CPD)へのCEP164のリクルートメントに必須。PTM: DNA損傷時にリン酸化される。おそらくATMまたはATRによるものと思われる。類似性: XPAファミリーに属する。サブユニット: XAB1およびRPA1と相互作用する。UV照射時にN末端を介してCEP164と相互作用する。組織特異性: 様々な細胞株および皮膚線維芽細胞で発現する。

研究分野

ヌクレオチド除去修復

画像データ



1:1000希釈の一次抗体を用いた1Hela細胞、2無血清処理細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は1:10000希釈。